

# ■ 稚内港におけるクルーズ船を対象とした 無料公衆無線 LAN の整備について

稚内市 建設産業部 物流港湾課

稚内港は、日本最北に位置し樺太に対する渡航の地として、大正9年に建設に着手し樺太、利尻、礼文の各島との連絡や漁業基地として発展し、昭和32年に重要港湾に指定されています。

現在も道北地域の物流拠点、利尻・礼文の離島観光を始めとする宗谷圏内における観光の拠点として重要な役割を担っております。

現在、稚内港では、末広埠頭東岸壁において「大型クルーズ船受入環境改善事業」が採択され、係留ピットの設置や連絡橋、防舷材、係船柱の設置などの整備が進められています。

平成30年は、本市にとって市制施行70年、開港70年のメモリアルイヤーをむかえ、7月には「ぱしふいっくびいなす」と「飛鳥II」の寄港が決定しています。

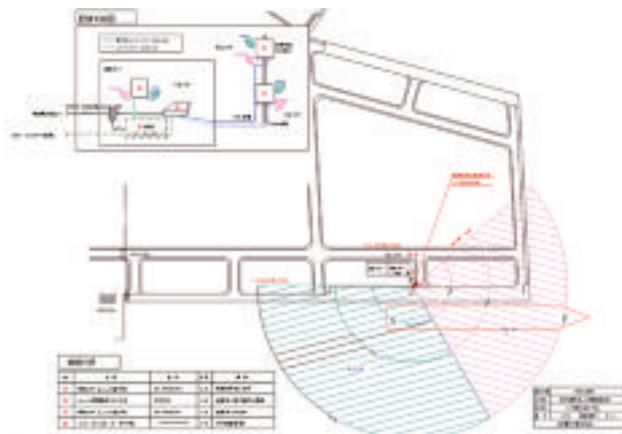
また、本市においては、平成29年から市内の観光地5カ所に無線LANを整備した結果、訪日外国人や観光客にとって利便性が向上していることから、稚内港においても、今回の岸壁整備にあわせて、クルーズ船が寄港した際に乗船客やクルーに対して、無料Wi-Fiを使用して頂ける様、無線LAN整備事業を現在、「訪日外国人旅行者受入環境整備緊急対策事業費補助金」を活用して整備中です。

整備の概要は、無線LANユニットを2基設置し、クルーズ船の歓迎イベント等で使用される上屋周辺やエプロン上を対象エリアとするものです。

この無線LAN整備事業により、利便性や快適性が増し、稚内港に寄港したクルーズ船の満足度が向上し、更なる寄港の増加に繋げていきます。



稚内市末広埠頭東岸壁位置図



稚内市末広埠頭東岸壁無線LAN工事平面図



稚内市末広埠頭東岸壁無線LANイメージ図